

2021年10月11日
株式会社日本政策金融公庫**有機・特別栽培の農産物を購入している方の3割超が“3割高でも購入”**

< 消費者動向調査(令和3年7月調査)特別調査:特別な方法で栽培された農産物について >

日本政策金融公庫(略称:日本公庫)農林水産事業は、「消費者動向調査(令和3年7月)」を実施し、特別調査として、特別な方法で栽培された農産物(以下「有機・特別栽培の農産物」※という。)の購入について調査しました。

※本調査における「有機・特別栽培の農産物」とは、有機農産物や農薬、薬品、化学肥料等の使用を控えて栽培された農産物のことを指しています。

調査結果のポイントは以下の通りです。

○購入頻度は「日常的に購入している」、「時々購入している」との回答が約3割
有機・特別栽培の農産物の購入頻度は、「日常的に購入している」(3.8%)、「時々購入している」(26.4%)を合わせた約3割(30.2%)が“購入している”とする回答になった。その他の回答は、「あまり購入したことはないが、購入に関心がある」(46.5%)、「あまり購入したことはなく、今後も購入する気持ちはない」(23.4%)となった。

○選ぶ基準は「減農薬・無農薬」が最多

有機・特別栽培の農産物を購入する際の選ぶ基準は、「減農薬または無農薬で栽培された農産物であること」(68.1%)の割合が最も高く、次いで「有機農産物であること」(47.7%)、「減化学合成肥料または無化学合成肥料で栽培された農産物であること」(21.3%)の順となった。

なお、有機JASを満たす農産物に付される「有機JASマーク」について、「意味を含めて知っていた」は18.5%となった。

○最も購入する品目は「葉菜類」

有機・特別栽培の農産物の中で最も購入する品目は、「葉菜類」(37.2%)が最も多く、次いで「米」(17.6%)、「根菜類」(13.1%)となった。

「葉菜類」は、年代を問わず最も購入割合が高く、年代が低くなるほど高くなる傾向となった。

○購入理由は「安全な食品を食べたい」「健康にいい」が上位

有機・特別栽培の農産物を購入する理由は、「できるだけ安全な食品を食べたいから」(61.3%)が最も多く、次いで「健康にいいから」(47.2%)、「一般の農産物よりも美味しいと感じるから」(25.7%)の順となった。

年代別では、年代が高くなるほど「できるだけ安全な食品を食べたいから」の割合が高くなる傾向となった。

○ 購入しない理由は「値段が高い」が最多

有機・特別栽培の農産物を購入しない理由は、「値段が高いから」（45.1%）が最も多く、次いで「身近で販売されている場所がない・少ない」（36.6%）、「関心がないから」（28.0%）の順となった。

○ 有機・特別栽培の農産物を購入している方の3割超は“3割高でも購入”

有機・特別栽培の農産物を購入する際の許容価格は、「一般の農産物と同等の価格」（58.4%）が最も多く、“3割高でも購入する”（「5割高まで」と「3割高まで」の回答を合わせた割合）は2割を下回った。

他方、有機・特別栽培の農産物を「日常的に購入している」または「時々購入している」と回答した方に限定すると、“3割高でも購入する”とする回答は3割を超えた。一方で、「あまり購入したことがないが、購入に関心がある」または「あまり購入したことがなく、今後も購入する気持ちはない」と回答した方に限定すると、“3割高でも購入する”とする回答は2割を下回った。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当:赤羽根、米山) TEL: 03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

消費者動向調査(令和3年7月)

特別調査:特別な方法で栽培された農産物について

※今回の調査の「特別な方法で栽培された農産物」(以下「有機・特別栽培の農産物」という。)とは、
有機農産物や農薬、薬品、化学肥料等の使用を控えて栽培された農産物のことを指します。

～目次～

I.食品購入時に有機・特別栽培の農産物かどうかを気にかけるか	P 3
II.有機・特別栽培の農産物を購入したことがあるか	P 4
III.有機JASマークの理解度	P 5
IV.有機・特別栽培の農産物を購入する際の選ぶ基準	P 6
V.有機・特別栽培の農産物の中で最も購入する品目	P 7
VI.有機・特別栽培の農産物を購入する理由	P 8 ~ P 9
VII.有機・特別栽培の農産物の購入方法	P10
VIII.有機・特別栽培の農産物の情報を得る手段	P11
IX.有機・特別栽培の農産物を購入しない理由	P12
X.有機・特別栽培の農産物を購入する際の価格許容度	P13

○調査概要

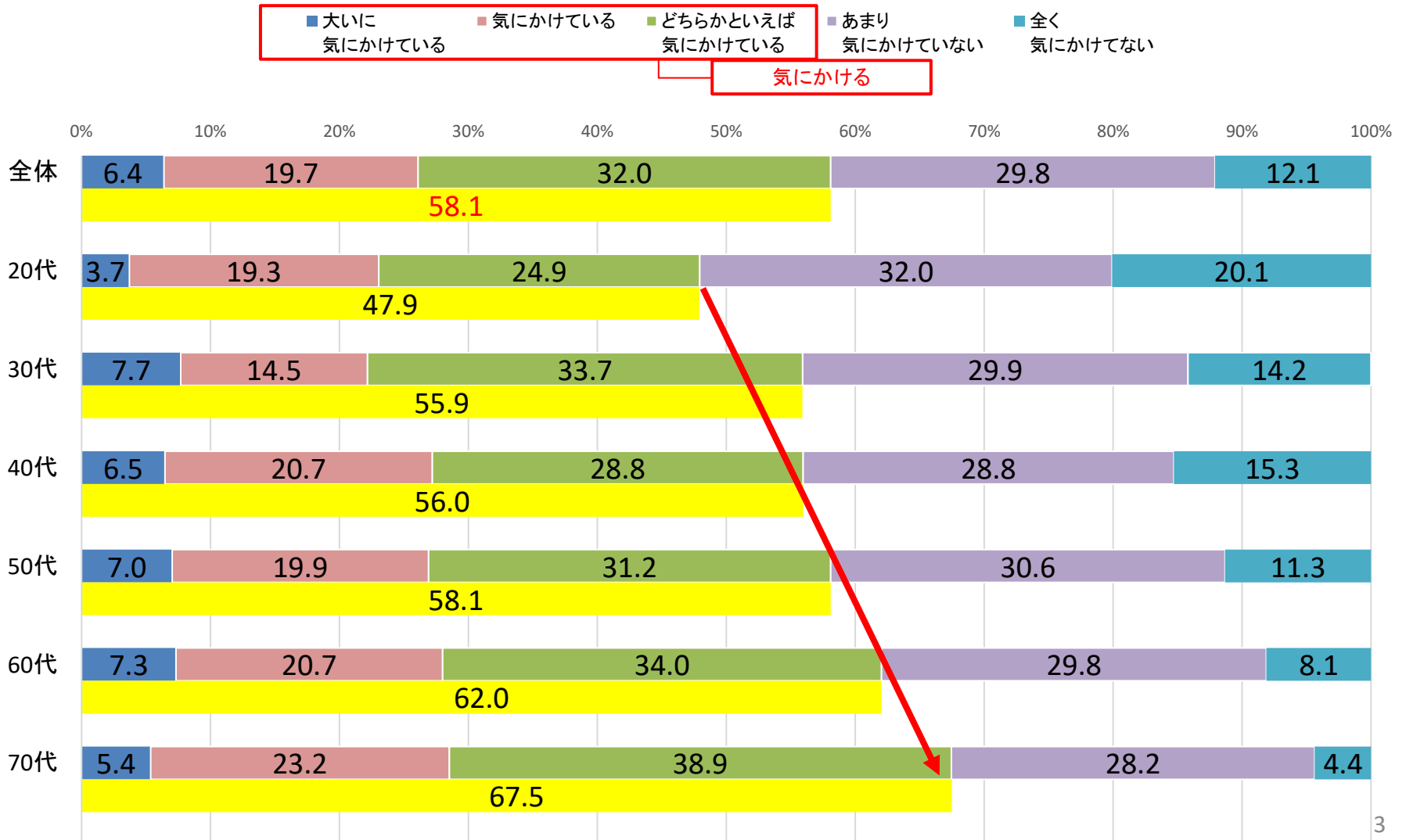
- 調査時期: 令和3年7月
- 調査方法: インターネット調査
- 調査対象: 全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)
※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当: 赤羽根、米山) TEL: 03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

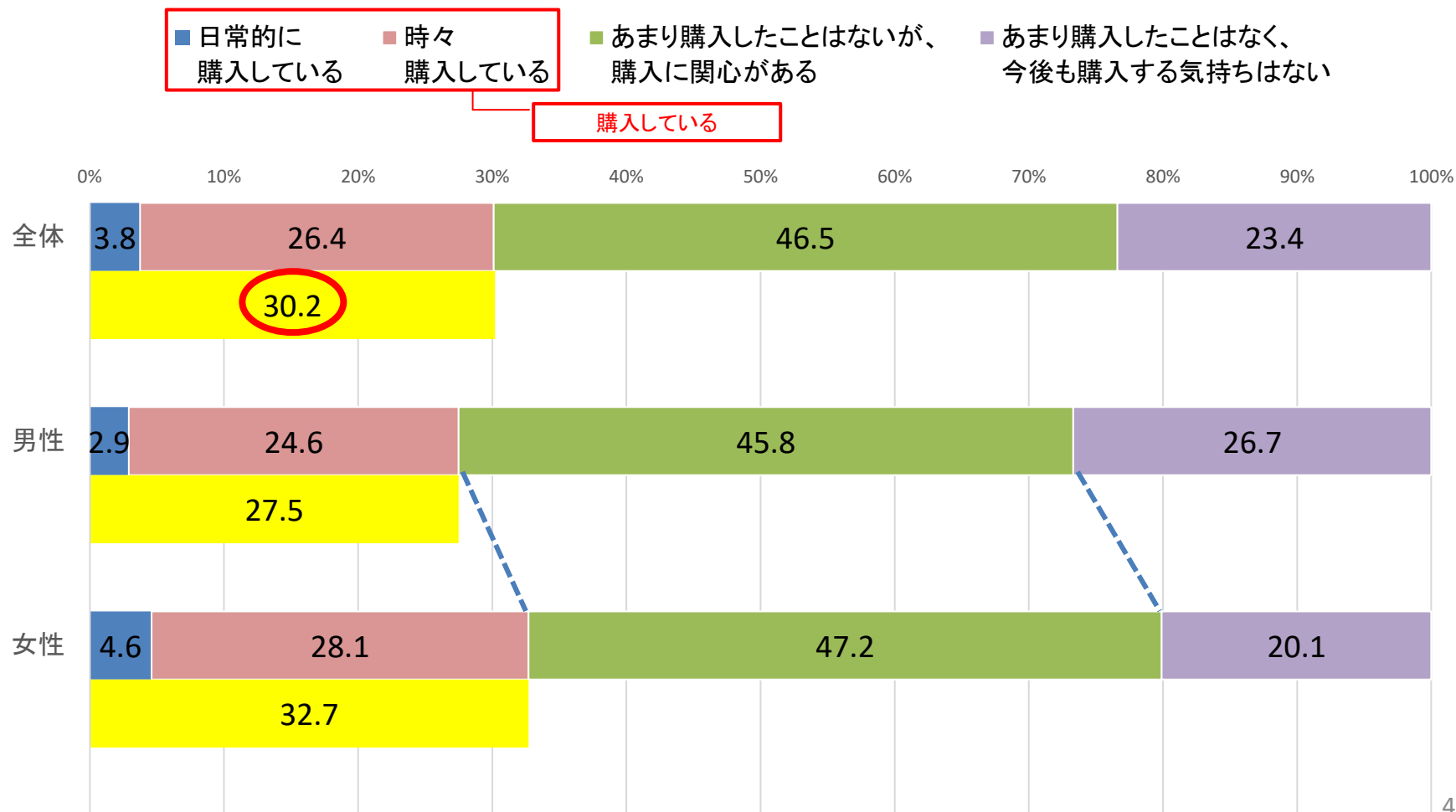
I. 食品購入時、有機・特別栽培の農産物かどうかを気にかけるか(全体、年代別/1つ回答)

- ・食品購入時に、有機・特別栽培の農産物かどうかを「大いに気にかけている」(6.4%)、「気にかけている」(19.7%)、「どちらかといえば気にかけている」(32.0%)となり、有機・特別栽培の農産物かどうかを“気にかける”とする回答が過半数(58.1%)となった。
- ・有機・特別栽培の農産物かどうかを“気にかける”とする回答割合は、年代が高くなるにつれて高くなる傾向となった。



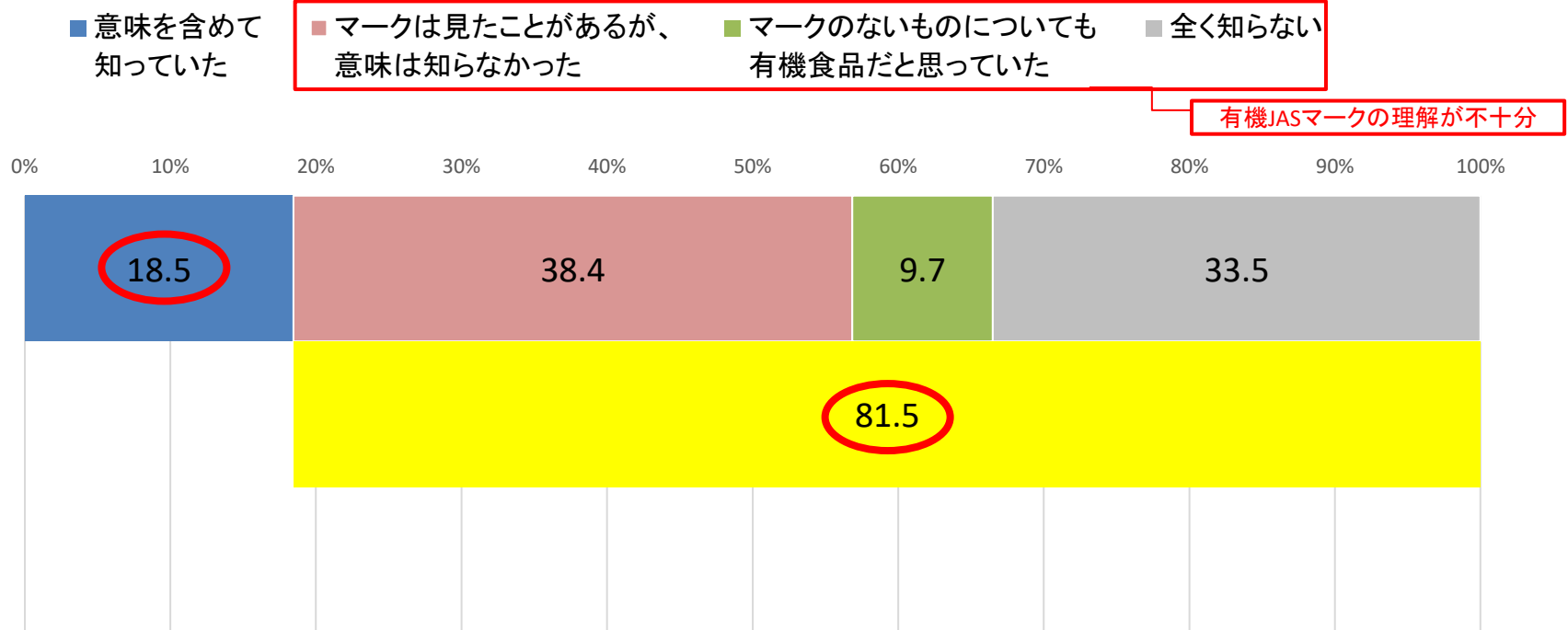
Ⅱ. 有機・特別栽培の農産物の購入頻度について(全体、男女別/1つ回答)

- ・有機・特別栽培の農産物の購入頻度は、「日常的に購入している」(3.8%)、「時々購入している」(26.4%)を合わせた約3割(30.2%)が“購入している”とする回答となった。その他の回答は、「あまり購入したことがないが、購入に関心がある」(46.5%)、「あまり購入したことはないが、購入に関心がある」(46.5%)、「あまり購入したことはないが、購入に関心がある」(46.5%)、「あまり購入したことはないが、購入に関心がある」(46.5%)となった。
- ・男女別では、女性の方が有機・特別栽培の農産物を購入しているとする割合が男性よりも高くなっている。



Ⅲ. 有機JASマークの理解度(1つ回答)

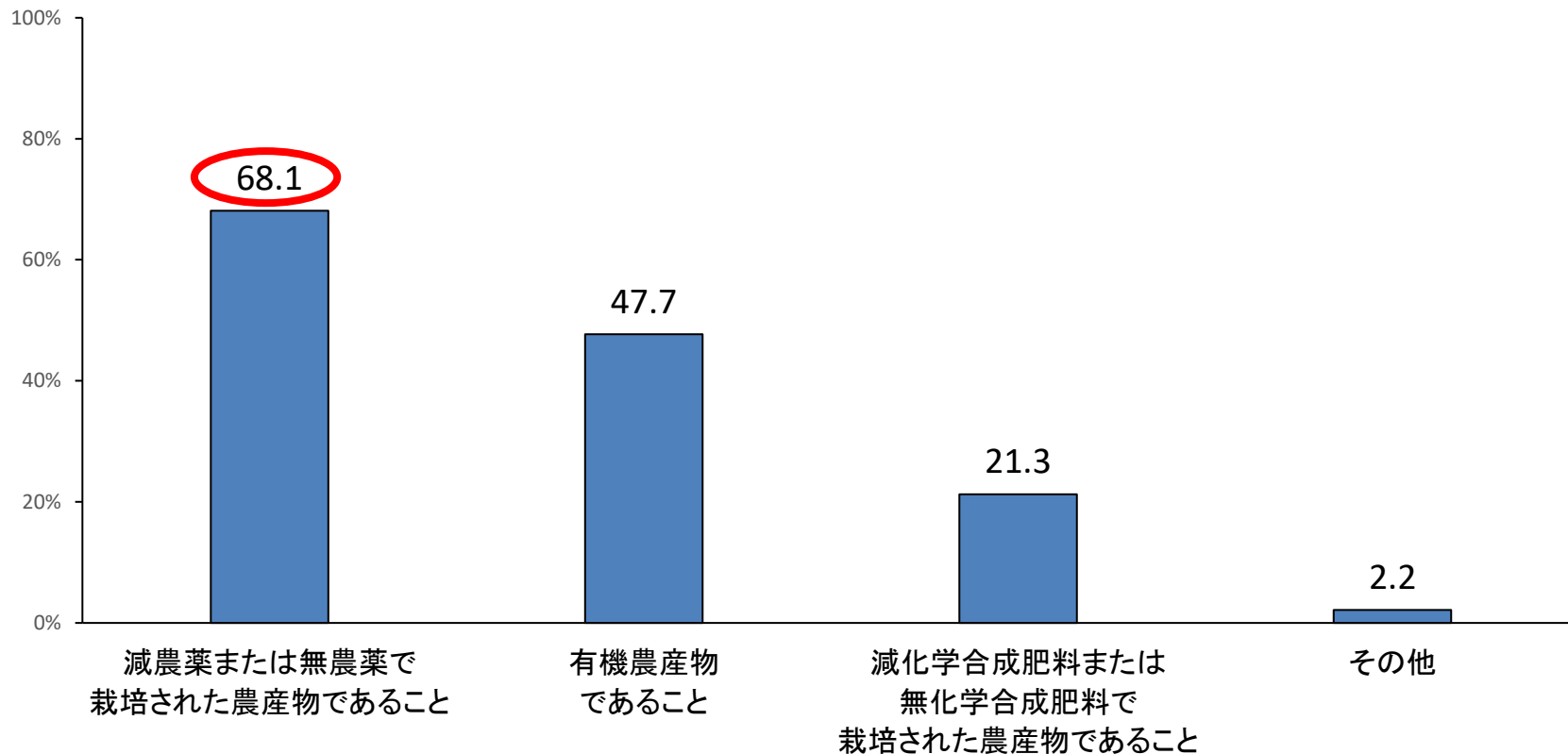
・有機JASを満たす農産物に付される有機JASマークについて、「マークを見たことがあるが意味は知らなかった」(38.4%)、「全く知らない」(33.5%)、「マークのないものについても有機食品だと思っていた」(9.7%)を合わせた“有機JASマークの理解が不十分”と思われる方の割合は81.5%。「意味を含めて知っていた」は18.5%にとどまった。



IV. 有機・特別栽培の農産物を購入する際の選ぶ基準

(「日常的に購入している」「時々購入している」と回答した方/複数回答)

- ・有機・特別栽培の農産物を購入する際の選ぶ基準は、「減農薬または無農薬で栽培された農産物であること」(68.1%)が最も高く、次いで「有機農産物であること」(47.7%)、「減化学合成肥料または無化学合成肥料で栽培された農産物であること」(21.3%)の順となった。

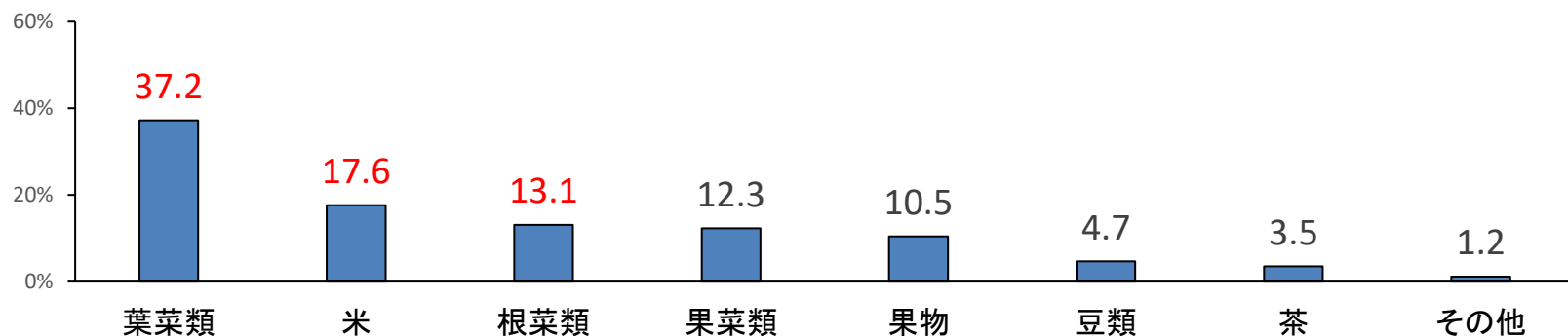


V.「有機・特別栽培の農産物」の中で最も購入する品目

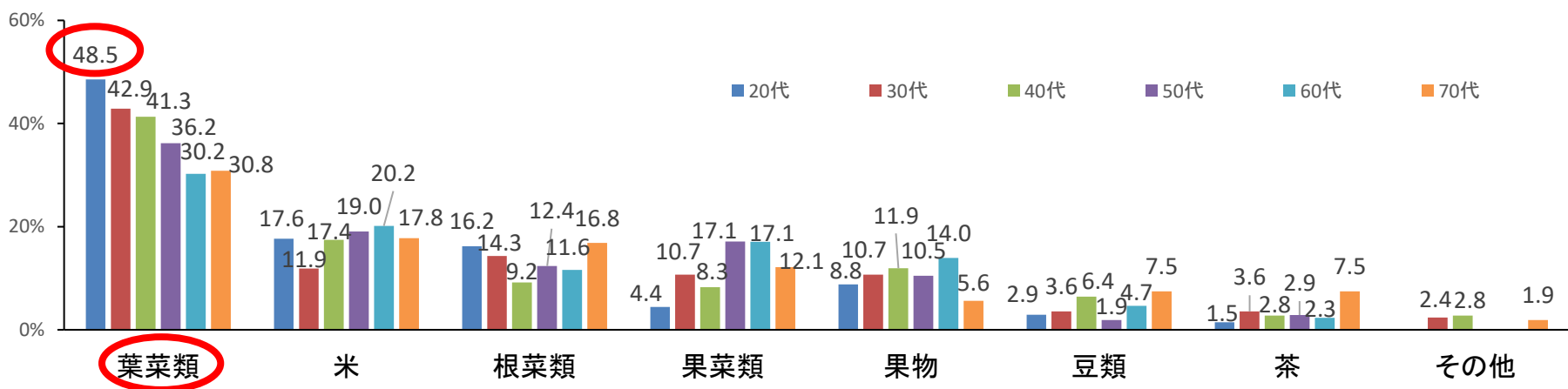
(「日常的に購入している」「時々購入している」と回答した方/1つ回答)

- ・有機・特別栽培の農産物の中で最も購入する品目は、「葉菜類」(37.2%)が最も高く、次いで「米」(17.6%)、「根菜類」(13.1%)となった。
- ・「葉菜類」は年代を問わず最も購入割合が高く、年代が低くなるほど高くなる傾向となった。

【全体】



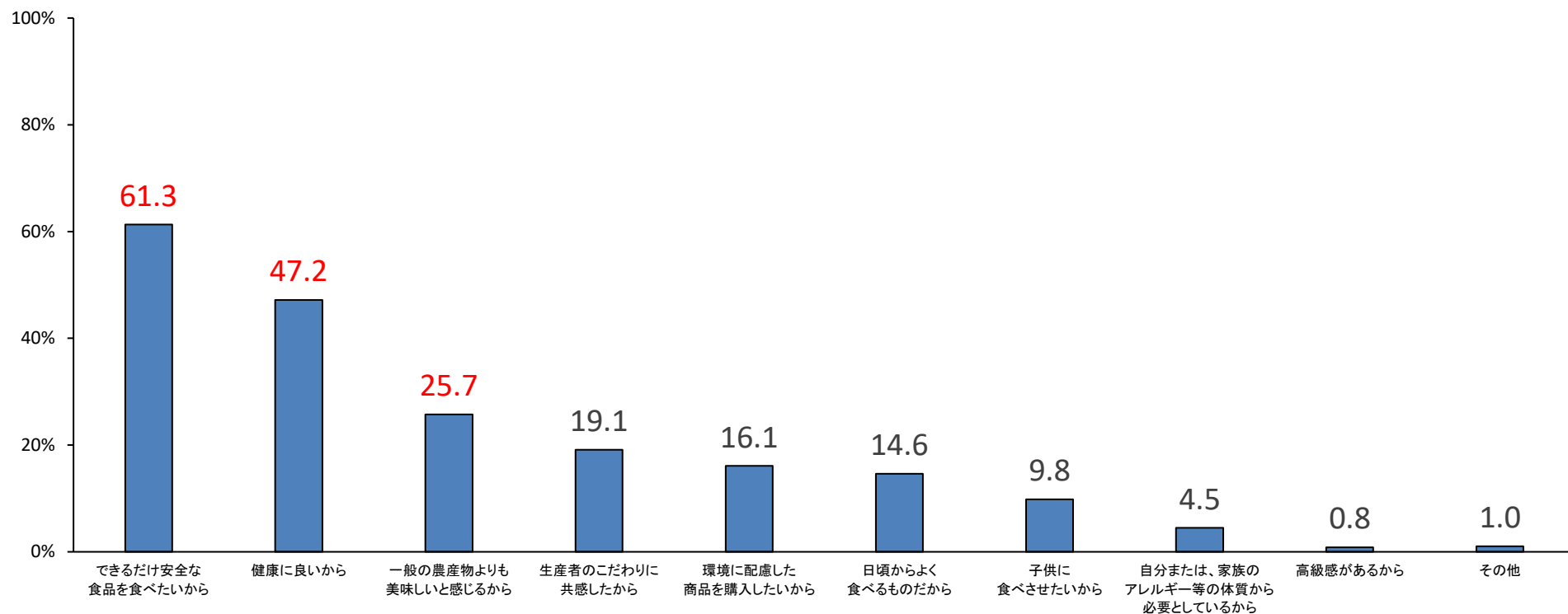
【年代別】



VI. 有機・特別栽培の農産物を購入する理由

(「日常的に購入している」「時々購入している」と回答した方/複数回答3つまで)

- ・有機・特別栽培の農産物を購入する理由は、「できるだけ安全な食品を食べたいから」(61.3%)が最も多く、次いで「健康に良いから」(47.2%)、「一般の農産物よりもおいしいと感じるから」(25.7%)の順となった。

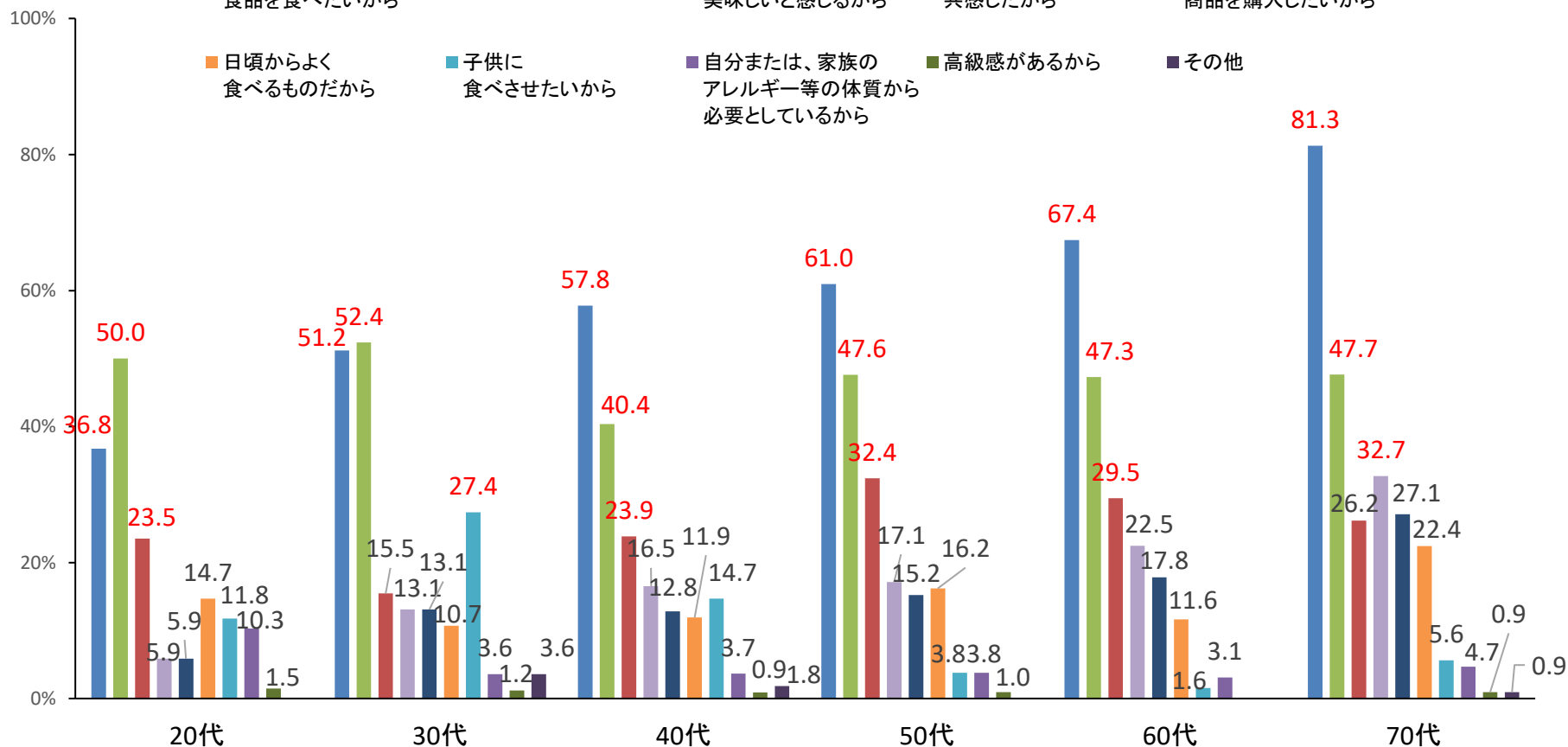
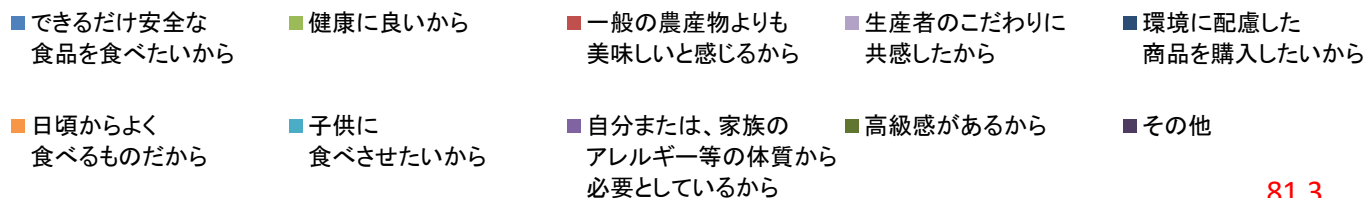


VI. 有機・特別栽培の農産物を購入する理由(年代別)

(「日常的に購入している」「時々購入している」と回答した方/複数回答3つまで)

- ・年代別では、全ての年代で「できるだけ安全な食品を食べたいから」、「健康にいいから」が上位2つを占めている。年代が高くなるほど「できるだけ安全な食品を食べたいから」の割合が高くなる傾向となった。
- ・各年代で3番目に多い回答は、20代、40～60代で「一般の農産物よりも美味しいと感じるから」、30代は「子供に食べさせたいから」、70代は「生産者のこだわりにも共感したから」となった。

【年代別】

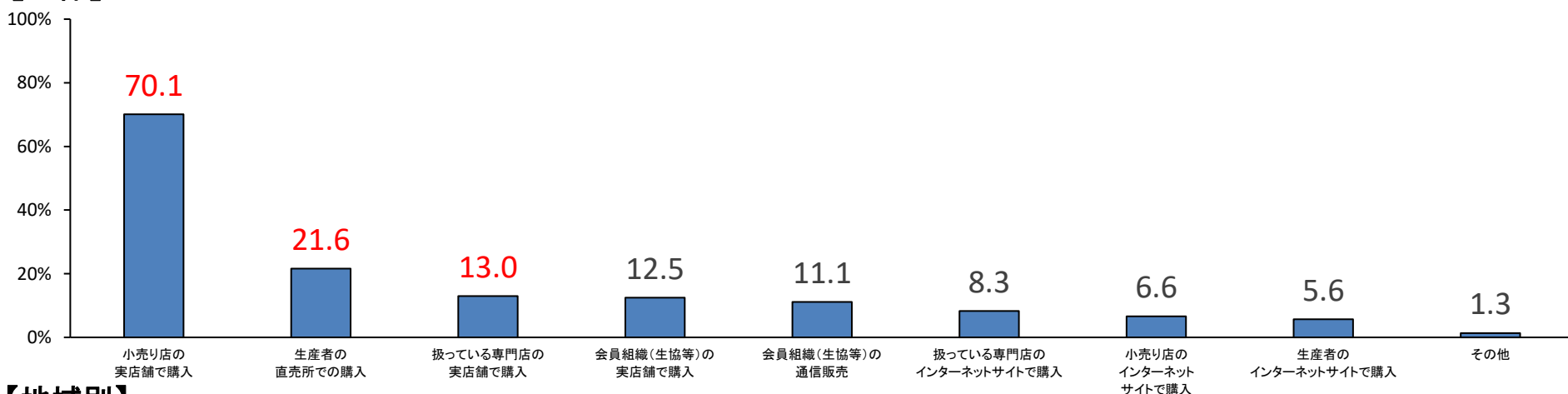


VII. 有機・特別栽培の農産物の購入方法

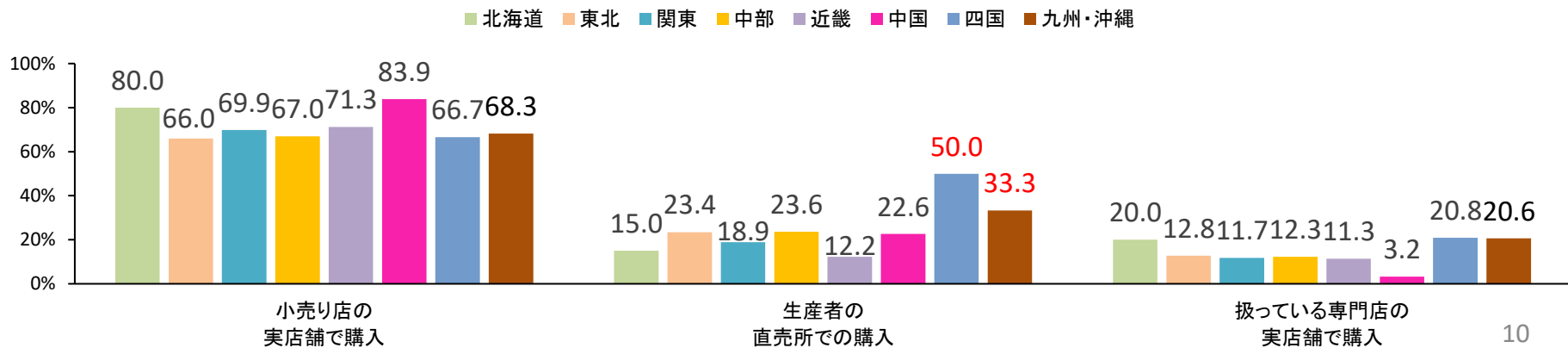
(「日常的に購入している」「時々購入している」と回答した方/複数回答)

- ・有機・特別栽培の農産物の購入方法は、「小売店の実店舗で購入」(70.1%)が最も多く、次いで「生産者の直売所で購入」(21.6%)、「扱っている専門店の実店舗で購入」(13.0%)となった。
- ・地域別では、四国と九州・沖縄で「生産者の直売所で購入する」が他の地域と比較して高くなっている。

【全体】



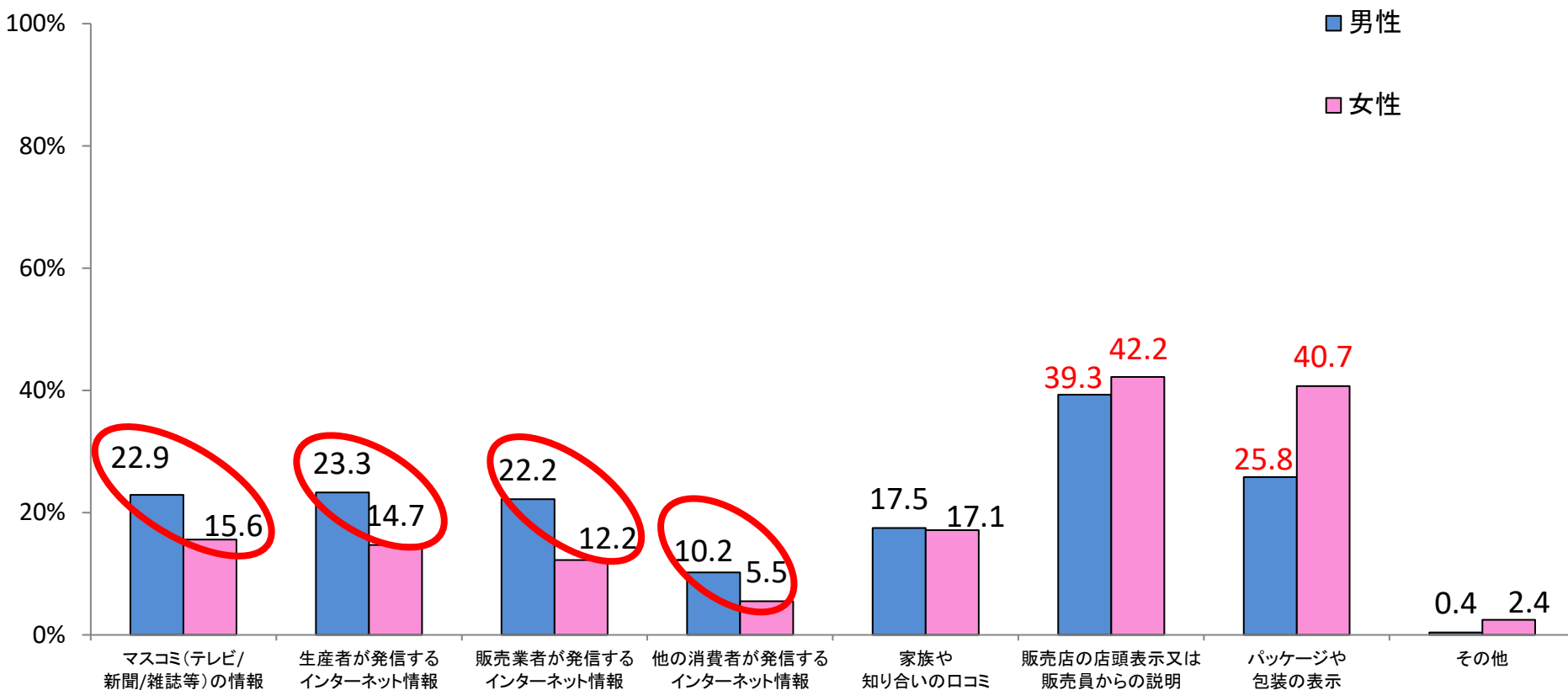
【地域別】



Ⅷ. 有機・特別栽培の農産物の情報を得る手段(男女別)

(「日常的に購入している」「時々購入している」と回答した方/複数回答)

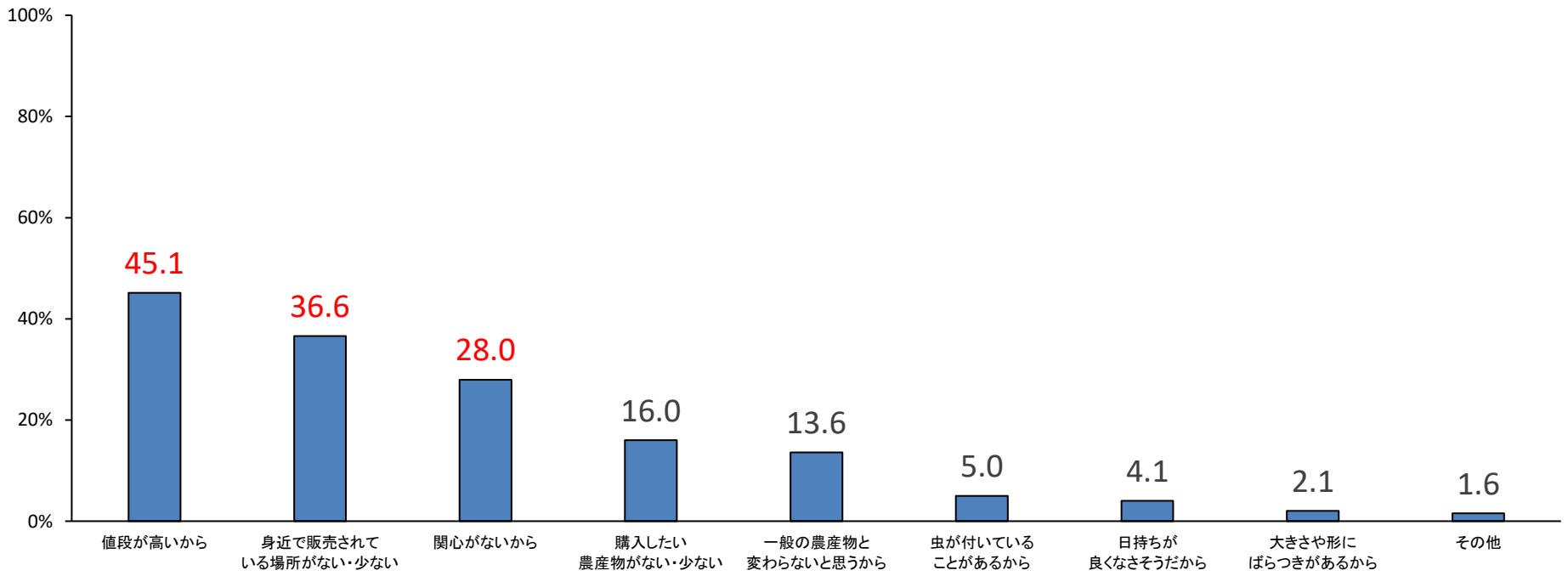
- ・有機・特別栽培の農産物の情報を得る手段は、男女ともに「販売店の店頭表示又は販売員からの説明」が最も多く、次いで「パッケージや包装の表示」が多くなった。
- ・男性は女性よりもマスコミやインターネットを活用して情報を得る割合が高くなった。一方で女性は、店頭表示や包装・パッケージの表示から情報を得ている割合が男性よりも高くなった。



Ⅷ. 有機・特別栽培の農産物を購入しない理由

(「あまり購入したことがないが、購入に関心がある」「あまり購入したことがなく、今後も購入する気持ちはない」と回答した方/複数回答3つまで)

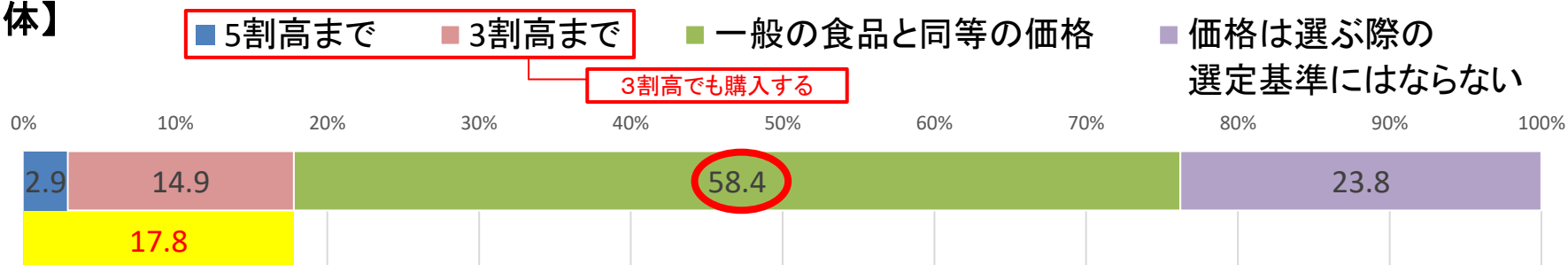
・有機・特別栽培の農産物を購入しない理由は、「値段が高い」(45.1%)が最も多く、次いで「身近で販売されている場所がない・少ない」(36.6%)、「関心がない」(28.0%)の順となった。



X. 有機・特別栽培の農産物を購入する際の価格許容度（1つ回答）

- ・有機・特別栽培の農産物を購入する際の価格許容度は、「一般の農産物と同等の価格」(58.4%)が最も多く、“3割高でも購入する”（「5割高まで」(2.9%)、「3割高まで」(14.9%)を合わせた割合）は2割を下回った。
- ・「日常的に購入している」または「時々購入している」と回答した方に限定すると、“3割高でも購入する”とする回答は、3割を超えた。一方で、「あまり購入したことはないが、購入に関心がある」または「あまり購入したことはないが、今後も購入する気持ちはない」と回答した方に限定すると、“3割高でも購入する”とする回答が2割を下回った。

【全体】



【有機・特別栽培の農産物の購入頻度別】

